

美々川だより

Bibigawa News Letter Vol.4

平成 20 年 1 月発行
発行/北海道室蘭土木現業所

『ウィンターキャンプ～2007 年度 豊かな体験活動～駒里小学校』が開催されました

室蘭土木現業所では、平成 18 年度より広く美々川・ウトナイ湖を知ってもらうことを目的として、さまざまな地域活動を行っています。今回は千歳市立駒里小学校の皆さんとウトナイ湖野生鳥獣保護センターの施設見学や室内学習（巣箱づくり）などを体験しましたのでその結果をお知らせします。

去る 12 月 13 日（木）、『ウィンターキャンプ～2007 年度 豊かな体験活動～駒里小学校』がウトナイ湖野生鳥獣保護センターにて開催され、小学生 11 名と教職員 6 名が参加しました。

『駒里小学校 ウィンターキャンプ～2007 年度豊かな体験活動～』は、美々川周辺の自然環境について理解を深めようと、駒里小学校を中心として室蘭土木現業所が協力した地域活動の一つです。

今回は、ウトナイ湖野生鳥獣保護センターにおいて「ウトナイ湖の水はどこからくるの」の室内学習、「傷病鳥獣ゲージ」の施設見学、巣箱作りやウトナイ湖畔に出て実際に鳥たちを観察しました。



当日のスケジュール

9:35	室内学習 ウトナイ湖の水はどこからくるの？ 質問に答えよう
10:35	傷病鳥獣ゲージ見学
10:45	巣箱づくり
11:40	昼食
12:10	ウトナイ湖の野鳥観察

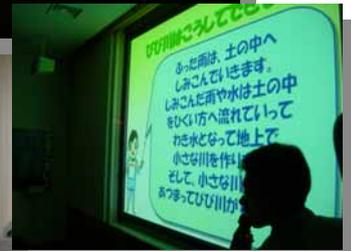
□こんな体験・学習をしました

ウトナイ湖の水はどこからくる？

ウトナイ湖の水はなにかからできているの？どこからくるの？について紹介しました

ウトナイ湖は皆さんの住んでいる駒里の近くを流れる美々川の水からできています。いったいこの美々川の水はどこからくるのでしょうか？ウトナイ湖にたどり着くまでの水の旅の始まりはじまりです。

その答えは……美々川はたくさんの場所から湧き出た水から成り立っています。降った雨はウトナイ湖にたどりつくまでに時間がとてもかかります。ウトナイ湖は美々川のような川がいくつも集まってできています。



質問にお答えします

かんきょう やちよう 環境や野鳥についてもっと知ろう！

野鳥ってどんな鳥のことですか？カラスやスズメ、ハクチョウも野鳥ですか？ウトナイ湖にはどんな野鳥がくるのですか？何羽くらい来ますか？なぜ野鳥は渡るのですか？鳥が飛べるのはなぜですか？野生鳥獣保護センターの仕事はなにですか？ニワトリはなぜ飛べないのですか？！の質問に答えてもらいました。また、ウトナイ湖の自然について紹介してもらいました。



傷病鳥獣ケージの見学・ウトナイ湖の野鳥観察

しょうびようちようじゅう

傷病鳥獣ケージの見学、ウトナイ湖の野鳥を観察しました

傷病鳥獣ケージにおいて治療中のコノハズクとリハビリ中のオオワシの見学と、ウトナイ湖の野鳥を観察しました。獣医の方たちは治療やアドバイスを、また、ボランティアの方たちは傷の手当や給水、水浴び、日光浴、ケージや収容箱の清掃などを行っています。



□生徒たちの感想

- 美々川のことがよくわかりました。巣箱作りが楽しかったです。
- 大ワシがすごくかっこよかったです。飛ぶ時もとても早くて、ぼくも鳥になってみたいなあと思いました。
- ビンゴ大会やビデオなどが楽しかったです。
- 野生鳥獣保護センターで色々なことわかってよかったです。
- おもしろかったのです。また参加したいです。
- これからも美々川やウトナイ湖の自然や生き物などの勉強をしていきたいです。
- 小学校の近く美々川がはじまる場所があることは知りませんでした。
- 美々川は景色がいいところがいっぱいです。
- 美々川には自然がいっぱいあることがわかりました。

□おわりに

今回の活動を通して児童たちは、住んでいる駒里から電車に乗ってウトナイ湖までちょっとした旅を経験しました。自分たちの住んでいる周辺にはウトナイ湖や美々川といった貴重な自然があること、美々川はたくさんのわき水からできそれはウトナイ湖に流れ出ていること、ウトナイ湖にはたくさんの鳥が遠く海を渡ってくること、傷ついた鳥たちを治してくれる獣医さんがいることなど、新しい発見をしてもらえたのではないのでしょうか。

□今後の予定

室蘭土木現業所では、今後も地域の皆さんの協力を得ながら、継続してこのような活動を行っていきたいと考えています。

□今後の活動予定 ○地域懇談会…地域の方々と一緒に昔の美々川の様子などについて語り合います。